

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	卓上ボール盤 SDP-13C		お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店	住所名	☎ ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

修正. パーシリスト. No. 13 ~

DRILL-PRESS



卓上ボール盤


SDP-13C 取扱説明書





このたびは卓上ボール盤をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注** : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

警告

1. 作業をするときの服装について

■電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
・作業中、本機に取りつける工具の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。

■作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。

・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。

■粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

■作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。

・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。

■作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。

・暗い場所での作業はけがの原因となります。

■電動工具のモーターが回転するときに火花が発生することがあります。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。

・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、作業場の近くには置かないで下さい。

■作業場は作業者以外は近づけないで下さい。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。

・作業場の近くに作業者以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。

■電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。

・感電の恐れがあり大変危険です。

警告

3. 電気について

■使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。

・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。

■感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

■電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。

■電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切って下さい。

・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。

■ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。

・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。

■初めて本機を使用するとき、工具を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。

・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。

■作業の都合で本機を改造したりしないで下さい。

・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。

■運転中は回転部（工具の作動部）には絶対に触れないで下さい。

■本機の点検、掃除、工具（のこ刃等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず電源プラグを抜いて下さい。

・スイッチ、電源プラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
 - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
 - ・ コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
 - ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工して下さい。
 - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
 - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用下さい。
 - ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用下さい。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり、作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
 - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

ボール盤のご使用上のご注意

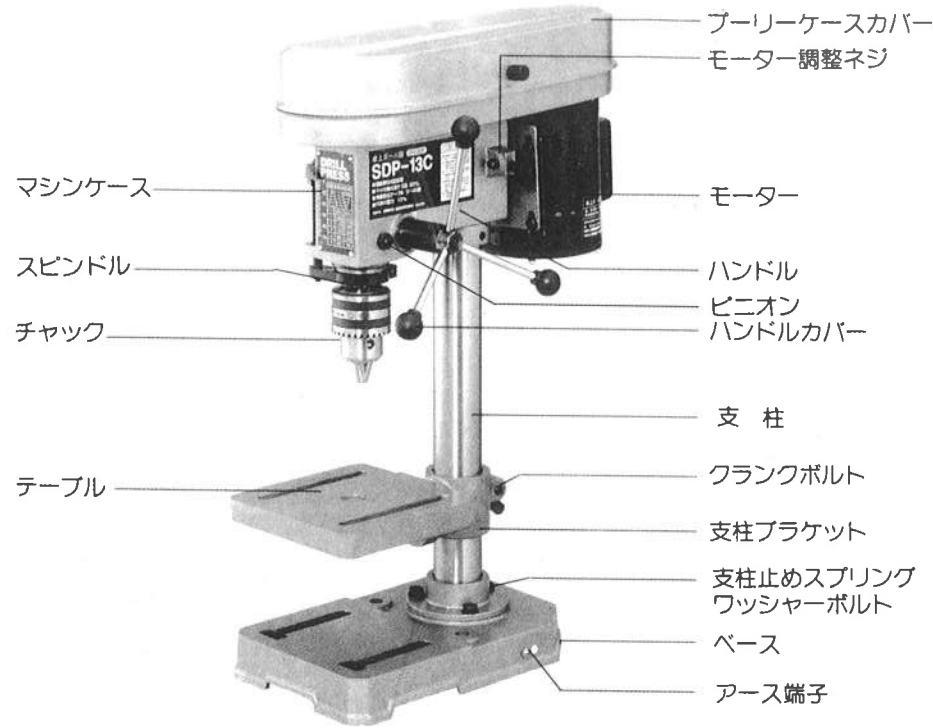
- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。100V用のものを間違えて200V電源に接続して運転しますと、モーターの回転が異常に高速となり、機体が破壊するおそれがあり危険です。
- お使いになる前には、必ずコードや電源プラグを点検してください。コードやプラグが傷んだまま使用すると、やけど・感電・火災などの原因となります。コード線が損傷したら、すぐ新品と交換してください。
- 本機にアース端子がついています。万一漏電のとき危険ですので必ずアースを接地してください。
- 雨の中や湿気が多い場所は漏電のおそれがありますのでさけてください。
- 工具や付属品は、その能力をこえた過酷な作業をさせないでください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、危険ですのでさけてください。
- 作業はきちんとした服装でしてください。ネクタイをつけたり、袖口を開いたままで作業しますと、回転物に巻き込まれるおそれがあり危険です。
- 作業中は保護メガネをご使用ください。多くの場合、目の保護のため保護メガネが必要です。また、ほこりが多く出る場合は、マスクもつけてください。
- チャック回しなどの工具類は、運転前に必ず本体から取りはずしてください。取りはずしを忘れますと、起動時に飛んだり、思わぬ事故のもとになり危険です。
- ご使用後は、必ず電源プラグを電源から抜いてください。キリの交換・掃除・点検などの場合も必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。

仕 様

型 式		SDP-13C	
子	ツ	ク (mm)	13
電		圧 (V)	100
周	波	数 (Hz)	50/60
電		流 (A)	3/2.5
消	費	電 力 (W)	280/240
回 転 数 (RPM) 5 段 変 速	ベルト	50Hz	60Hz
	1	2,600	3,000
	2	1,750	2,100
	3	1,250	1,500
	4	900	1,050
	5	600	700
テーブルの角度調整		0~45°	
チャックとテーブル上面までの距離(mm)		185	
チャックとベース上面までの距離(mm)		275	
クイルの上下移動(mm)		50	
テーブルの大きさ(mm)		165×165	
ベースの大きさ(mm)		290×185	
クイルのセンターから支柱までの距離(mm)		100	
機 械 の 高 さ(mm)		600	
重 量(kg)		20	

※改良のため製品の仕様が変更することがあります。 ※キリは付属品ではありません。

組立図



部品明細

部品名	数量	部品の説明
チャック	1コ	スピンドルに差し込む
クランクボルト	1本	支柱にテーブルを固定するボルト
ハンドル棒	3本	ピニオンにネジ込む
ハンドルカバー	3コ	ハンドル棒にネジ込む
小ネジとワッシャ	3セット	支柱のフランジをベースに取付け用
チャック回し	1コ	チャックを回す
バイス	1コ	材料を固定
大ネジとワッシャ	2セット	バイスとテーブルに取付け用
六角レンチ	1本	マシンケースについている支柱固定ネジを回す

本体の組立方法

①支柱とベースの組立

ベースの上に支柱をたてて、3つの穴を合せてください。ボルトとスプリングワッシャで3カ所を締め付けてください。図1参照

②テーブルの取付方法

テーブルと支柱ブラケットをクランクボルトで締付けてください。方向はベースに合せてください。図2参照

③マシンケースの取付方法

マシンケースを支柱の上に差し込んでください。方向はベースの上にチャックがくるように合せてください。止めネジはマシンケースの側面についていますので付属の六角レンチで固定してください。図3参照

④ハンドルシャフトの取付方法

ハンドルの先端にハンドルカバーをネジ込み、ピニオンの3カ所の穴にネジ込んでください。図4参照

⑤チャックの取付方法

テーブルの上に木の角材を置いて、その上にチャックをのせ、スピンドルとチャックの間を25%位になるようにテーブルを調整してください。この場合、チャックはチャック回して全開に開いてください。同時にチャックのスピンドルが入る穴を布でふいて完全に防錆剤を取り除いてください。付着していると差し込み後チャックが抜けることがあります。

準備が終了しましたら、ハンドルを回して、スピンドルをチャックの穴に正確に押し込み、2~3度軽く突いて固定させてください。図5参照

⑥ブリーカバーのビスとツマミのセット方法

ビスをブリーカバーの中から外に差し込み、外からツマミを入れてください。図6参照

注スピンドルの差し込み部並にチャックの穴に防錆油がついていますので乾いた布で完全にふきとってください。

注チャックをスピンドルに手で差し込んだだけですと回転中に落下することがありますのでご注意ください。

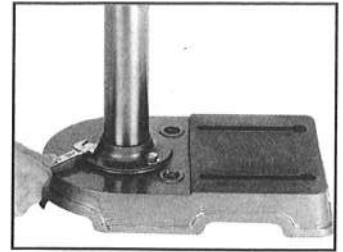


図1

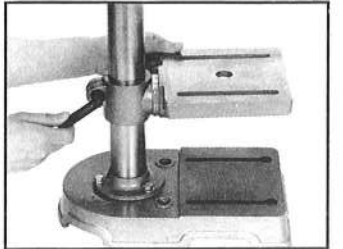


図2

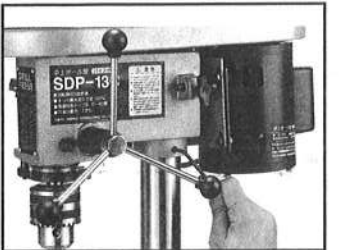


図3



図4

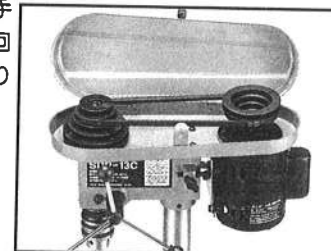


図6



図5

調整方法

①テーブルの高さ調整

テーブルを上下させるときは、クランクボルトをゆるめてテーブルを上下させてください。調整後はクランクボルトを締めつけて固定してください。図7参照

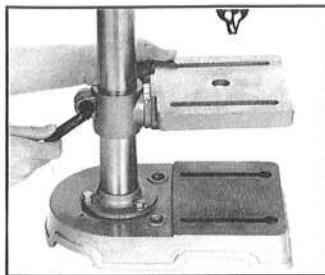


図7

②テーブルの角度調整

テーブルの角度は0~45度の範囲で調整ができます。テーブルの裏面のボルトをゆるめると傾斜角度が調整できます。調整後はボルトを締めて固定してください。

図8参照

注目盛は目安としてご使用ください。

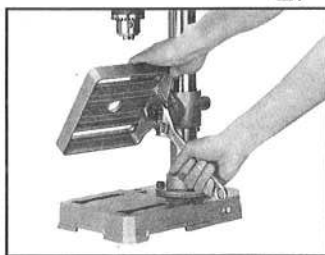


図8

③穴の深さを調整

スピンドル(チャック)を希望する深さまで下げて、スピンドル固定ナットを移動させて固定してください。

図9参照

注目盛は目安としてご使用ください。



図9

④スピード(回転数)の調整

④スピードはプーリーで5段の調整ができます。

⑤スピードを調整するときはベルト調整ハンドルを回して、ベルトをゆるめてください。図10参照

⑥プーリーが5段になっていますので、希望するプーリーにベルトをセットしてください。

⑦ベルトをセットしたら、モーターを後ろに移動させてベルトに張力をつけてください。調整後はモーター調整ネジを回して、締めつけてください。



図10

ベルトの張力の調整

●適当なベルトの張力のために、4kgの圧力、もしくは手の圧力をベルトにかけて、図のようにしてください。距離は約13%+10%です。

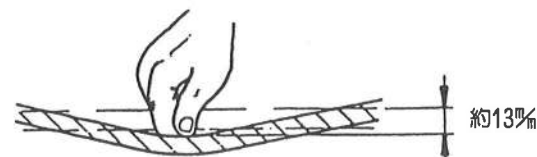


図11

ドリルの取り付け方法

①ドリルをセットするときは、チャック回しでチャックの内径をドリルがスムーズに入る大きさに調整してください。

②次にドリルを差し込み、チャック回しで締めてください。締めるときはドリルをセンターに入れて、チャックの3カ所の穴にチャック回しを入れ、均等に締めつけるようにしてください。図12参照

③穴あけ加工をするときは、パイプ・ワカ等て材料を完全に固定してから作業をするようにしてください。

注手で押えるだけの作業は、材料がふり回されて危険です。ケガの原因となりますから固定して作業をしてください。

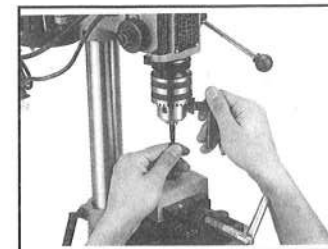


図12

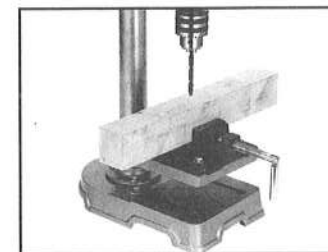


図13

保守点検について

①本機を最高の状態で、安全にご使用いただくために常に保守、点検をしてください。

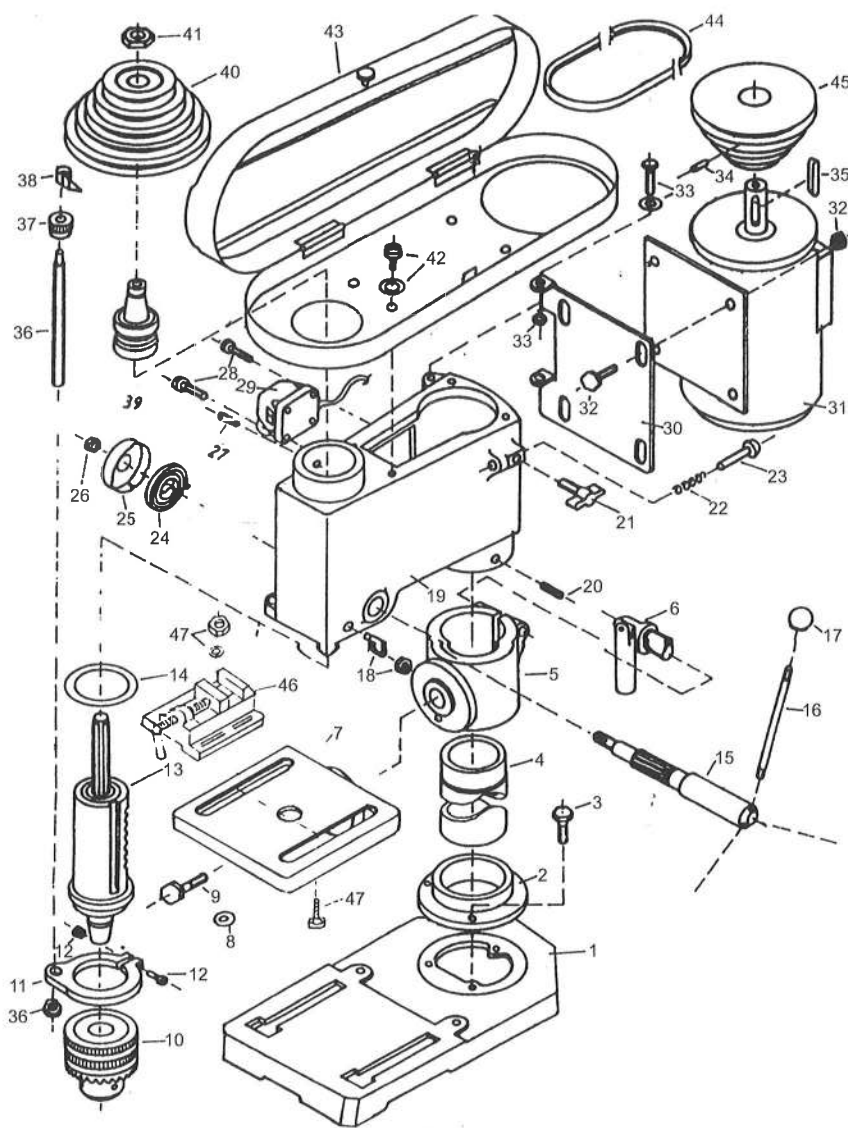
②回転部には、切削くずやゴミが詰まらないように取り除いてください。

③テーブルや支柱に、自動車用ワックスをぬると、表面がいつでもきれいに保てます。

④ベアリングにはグリスが詰めてあります。回転部、移動部には定期的に油をさしてください。

⑤本機について故障の場合、または、お取扱い上で不明な点がありましたら、お買い上げ店、または当社にお問い合わせください。

部品名称



部品名細

No	部品名	No	部品名
1	ベース	25	ピニオン調整スプリングケース
2	支柱のフランジ	26	ピニオン調整ナット
3	支柱のボルト、スプリングワッシャー	27	クイック止めイモネジ
4	支柱	28	スイッチ止めネジ
5	支柱ブラケット	29	スイッチ
6	クランクボルト	30	モーターブラケット
7	テーブル	31	モーター
8	テーブル止めワッシャ	32	モーター止めボルト
9	テーブル止めボルト	33	モーター接続のビス、ナット
10	チャック	34	プーリー止めイモネジ
11	ワイルクランプ	35	空転止めピン
12	ワイルクランプ止めボルト、ナット	36	スピンドルシャフト
13	ワイル	37	スピンドルベアリング
14	ワイルのリング	38	リングクリップ
15	ピニオンのシャフト	39	スピンドルガイド
16	ハンドル	40	ワイル側のプーリー
17	ハンドルのカバー	41	プーリー止めナット
18	クイック止めイモネジ、ナット	42	プーリーカバー止めワッシャ、ナット
19	ハウジングケース	43	プーリーカバー
20	支柱止めイモネジ (表、裏各1)	44	Vベルト
21	モーター調整ネジ	45	モーター側のプーリー
22	モーター調整シャフトのスプリング	46	バイス
23	モーター調整シャフト	47	ボルトナット ワッシャー
24	ピニオン調整スプリング		